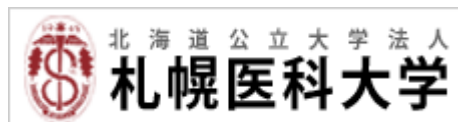


**12/20(火)の行事**

報道発表資料の配付日時 令和4年12月2日(金) 14時00分

<p>発表項目 (行事名)</p>	<p align="center"><b>「令和4年度医療機器等関連産業参入研修会（札幌医科大学医療現場二 ーズ発表会）」の開催について</b></p>															
<p>開催概要</p>	<p><b>【開催趣旨及び開催概要】</b> 道内ものづくり・IT企業等の医療機器等関連産業への参入や企業間連携を促進するため、医療機器製販企業による講演や医療周辺機器等の開発に取り組んでいる道内企業による事例紹介、札幌医科大学附属病院の医療現場における医療機器開発等の二ーズ紹介を行う、医療機器等関連産業参入研修会を開催します。</p> <p align="center"><b>記</b></p> <p>○日 時：令和4年12月20日(火) 14:00~16:00 ○会 場：会場およびオンライン配信 (Zoom) 会場：札幌医科大学記念ホール (札幌市中央区南1条西18丁目) ○共 催：北海道、札幌医科大学、ノーステック財団、札幌商工会議所 ○協 力：(株)北洋銀行、(株)北海道銀行 ○定 員：会場50名、オンライン100名 (先着順・参加費無料) ○対 象：道内ものづくり企業、IT企業等 ○内 容：(1) 講演：「医工連携について」           (株)常光 札幌研究開発室 課長 薬袋 博信氏           (2) マッチング事例紹介           ① タキゲン製造(株) 札幌支店営業課 主任 照井 宏和氏           ② (有)北海化成工業所 櫻井 美果氏           (3) 札幌医科大学二ーズ紹介           ：札幌医科大学におけるマッチング状況の紹介           札幌医科大学 産学連携コーディネーター 板垣 史郎           &lt;発表二ーズ8件&gt;</p> <table border="1" data-bbox="379 1563 1406 1921"> <thead> <tr> <th>担当部</th> <th>発表予定二ーズタイトル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理学療法学科</td> <td>ロボティクス・センシング技術を応用した「外力に対する肢位保持課題の定量化」</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">放射線部</td> <td>多目的放射線プロテクター清浄機</td> </tr> <tr> <td>回診用ポータブルX線撮影装置(ポーター)の感染対策ビニールカバー</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">臨床工学部</td> <td>壁掛け吸引器用吸引チューブキャップ</td> </tr> <tr> <td>壁掛け吸引器用吸引チューブホルダー</td> </tr> <tr> <td>ワゴンごとケーブルを乗り越えられるケーブルガード</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション部</td> <td>痰をとる低圧持続吸引器</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション部</td> <td>スプリント端材の再利用</td> </tr> </tbody> </table>	担当部	発表予定二ーズタイトル	理学療法学科	ロボティクス・センシング技術を応用した「外力に対する肢位保持課題の定量化」	放射線部	多目的放射線プロテクター清浄機	回診用ポータブルX線撮影装置(ポーター)の感染対策ビニールカバー	臨床工学部	壁掛け吸引器用吸引チューブキャップ	壁掛け吸引器用吸引チューブホルダー	ワゴンごとケーブルを乗り越えられるケーブルガード	リハビリテーション部	痰をとる低圧持続吸引器	リハビリテーション部	スプリント端材の再利用
担当部	発表予定二ーズタイトル															
理学療法学科	ロボティクス・センシング技術を応用した「外力に対する肢位保持課題の定量化」															
放射線部	多目的放射線プロテクター清浄機															
	回診用ポータブルX線撮影装置(ポーター)の感染対策ビニールカバー															
臨床工学部	壁掛け吸引器用吸引チューブキャップ															
	壁掛け吸引器用吸引チューブホルダー															
	ワゴンごとケーブルを乗り越えられるケーブルガード															
リハビリテーション部	痰をとる低圧持続吸引器															
リハビリテーション部	スプリント端材の再利用															
<p>報道(取材)に当たってのお願い</p>	<p>医療現場の生の声から、道内ものづくり企業が製品化を目指すユニークな試みであり、また、これまでの本イベントによる産官学連携の成果も発表しますので、積極的な取材等をお願いします。</p>															

# PRESS RELEASE



<https://web.sapmed.ac.jp/>

本件に関する問い合わせ先	札幌医科大学 附属産学・地域連携センター 担当：板垣 事務局研究支援課 担当：新井 TEL 011-611-2111（内線：21570、21590）
--------------	--